



1月号  
発行

大沢ふれあいのまちづくり  
協議会広報部会

<http://www.ozo.jp>

「住んでよかった・住み続けたい町」

平成二十年の新春を迎え、皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は町民運動会・盆踊り大会・芸術祭等にご協力を賜り誠にありがとうございました。心から御礼を申し上げます。

本年は懸案でありました大沢地域福祉センターの改修工事が二月十二日より始まります。完成は三月末と思われまます。当分の間会議等使用出来ませんのでご迷惑をおかけ致しますがよろしくお願い致します。完成が待ち遠しいですね。

調理室では料理教室が始まり親子で楽しくお菓子作り、おばあさんの指導で、郷土料理を教わるお母さん達の笑顔が目には浮かびます。ふれあい昼食会の調理も広く

の実現に向けて

設備の整った中で、のびのびとできるでしょう。これからの活動に期待致します。地域交流室は、パソコン教室や周辺交通網をうまくジョイントしミニティバスの運行を実現に向けて行う町づくりの拠点として機能を充分發揮出来る様にしていこうと思ひます。

忠霊塔の周辺や、階段の老朽化が進んでおり改修の必要が生じています。今地すべり防止工事が施工されていますが、この三月末には完成する予定です。遺族会より要望があり改修計画を立てています。車椅子対応のスロープも計画致しましたが、スペースの関係で無理があります。協議中ですが皆様方にご寄付をお願い致すことに

あけまして  
おめでとう  
ございます

成ると思ひます。その節はご協力頂きますようお願い致します。

(東本 暁)

大沢婦人会



新年明けましておめでとうございいます。昨年私たち婦人会も大沢町の皆様に暖かく支えていただき、数々の活動を実施してまいりました。環境にやさしい町を目指して取り組んできたゴミの減量とリサイクル化。『私たちひとりひとりができることから始めよう』を合言葉に、資源集団回収の回数・回収拠点・回収品目を増やし実施。

回収量も回を追うごとに増え、ゴミの減量化に向けて少しでも意識づけができたのではないかと思ひています。今年も町民の皆様のご協力を得ながら、進めてまいりたいと思ひます。また、昨年暮れには、県民交流広場事業の助成も決定し、二月より地域福祉センターの改装がなされるわけですが、地域活動の拠点として、また食育と健康づくり・高齢者の生きがいづくりの場としてさらなる活動の展開が求められています。

今年も私たち婦人会は、思いやりと感謝の気持ちを持って会員同志のつながりを大切に活動をして行きたいと思ひますし、自分たちのためだけではなく、もう少し広い視野に立って住みよい地域づくりのために婦人会活動の輪が広がられたらと願ひています。今後共、町民の皆様のご指導、ご支援をお願い申し上げます。(高山 潤子)

金属系大型ゴミ回収

2月29日(金)

午前6時～9時

中大沢農業倉庫横

詳しくは婦人会にお尋ねください

子供に関する委員会

…分家住宅…

大沢幼稚園に通う児童数は、現在九名で、四月からは七名の予定で、小学校・中学校の生徒数も減少傾向となっています。

他方、高齢化率（町人口に占める六十五才以上の方の率）は三十二%超と、市内でも有数の高い値で少子高齢化が進んでいます。

この解決には、「家」を増やすことが最も効果的ですが、都市計画法等の法規制によって分家住宅の建築が抑制されてきました。

このたび都市計画法・神戸市開発指導要綱の一部改正が行なわれたとの情報を得ましたので、さる十二月二十一日に所管課（建設局宅地開発指導課と産業振興局農政計画化）による出前トークを開催しました。今までは「市街化調整区域だから分家住宅は建てられない。」と考えられていましたが、今回の規制緩和により、いくらかの要件を満たすことは必要ですが、町内にも分家住宅を建てられることになりました。

無秩序な開発を防ぎ、豊かな自然を守るとともに、生まれ育った大沢町で分家住宅が建てられ、町人口の増加、活気あふれる大沢町になればと願っています。

ご相談は、宅地開発指導課までお問い合わせください。（電話 三二二―五五一）（山本 茂）

農業塾だより

第五回の農業塾も後は閉講式を残すのみとなりました。本年度は、塾生が十四名と少なかったのですが途中での棄権者もなく一年を過ごすことができました。経過は大沢町のホームページをご覧ください。これ当初からの卒業者は百六十二名となります。そのうち何人かは市民農園へ参加や、農業を始められ、当初目的としていた「地元との交流、定着」という目的に少しでも近づけたと自負しています。

来年度は、第六回目の農業塾を予定しています。募集は三月からです。皆様の御知り合いで興味をお持ちの方に声をかけてくだされば幸いです。（藤本喜郎）

二十歳になって

新成人おめでとうございます

- 池本 和宏
- 岩下 恭子
- 上田 ゆかり
- 尾中 康宏
- 白石 涼子
- 仲池 章博
- 中尾 小百合
- 中原 由佳
- 橋本 浩明
- 東岡 由香里
- 藤井 亜弓
- 細川 瑠美
- 森 靖洋
- 森井 美幸
- 山口 大樹
- 脇 孝次

成人式を迎えて 今年成人を迎える人数は過去最低の百三十五万人らしいです。そのうちの一人としての重みはまだ実感としては沸いてきません。

今は、この春に就職を控えており生まれ育ったこの大沢を離れ、これから始まる一人暮らし、新しい場所、新しい出会いへの期待と不安で胸がいっぱいです。これからは、より一層自分の行いに責任を持って、新しい生活をがんばっていきたいと思っています。（山口 大樹）

成人式を迎えて！私は一月十四日に成人式を迎えました。二十歳になってよく過去の自分の言動や考え方など振り返るようになりました。これからさらに立派に大きく成長していく上で、どのように変わるか考える為にです。まず私は成人として、人との関わりを見つめ直したいと思っています。この成人の日を機に、今までお世話になったたくさんの方々に、恩返しができるようにしたいです。また、自分の決めたことを諦めたり妥協したりすることなく取り組んでいこうと思います。周りの方々の支えがあるからこそ、今の自分があるということを忘れずに、一歩一歩自分の夢に向かって日々精進していきます。（藤井 亜弓）

しろんと綱引き

3月2日午前10時開会  
大沢校体育館

申込締切 2月19日  
問合せ 078・954・0054  
078・954・0301

# 歳男&歳女

あけましておめでとうございませす。

私は、昭和三十五年生まれ、四十八歳、子年生まれの年男です。今年、年明けより、株価下落、原油高騰、食品値上げと、社会環境は、厳しい年と成りそうです。子年は、商売繁盛の年と聞いた事があります。勤続三十年目の年、微力ながら会社の業績向上に努めたく思っております。また、消防団・自治会行事等にも、少しでもお役に立ちたく思います。家庭内は、病氣・怪我のないように過ごしたいと思ひます。ご指導宜しくお願い致します。(弓場 康孝)

年女としての新しい幕開け。遙か彼方と申していた節目の還暦をお陰様で元気に迎える事が出来ました。振り返ると、多くの方々の出会いが、私を勇気づけ、元氣と幸せを運んで下さいました。そして物事を色んな視点から捉える

ことの柔軟性も大きな財産となりました。路傍の石の一説に『一人しかない自分を。一度しかない一生を。本当に生かさなかつたら人間生まれてきた甲斐がない。』と書いています。人それぞれの生き方を問う世の中に。愛する家族や親しい友人を大切にしながら前向きに私のできる事を一生懸命、楽しんでながらゆっくりゆっくりと、生(行)きたく思っています。さあ、今年も忠実に体を動かし続けることこそ健康に繋がるのでチユーと私の中の『子』が呟く。

(蒲池 祥子)

## 激戦地を訪ねる

首都ポートモレスビーでスーツケースを預け慰霊祭の供物、学校訪問のプレゼント、着替え、マスク、雨具、トイレットペーパー、蚊取線香、空気座布団、懐中電燈を持ちプロペラ機でスタンレー山脈を越えポポンデッタへ。一行十人車を待つていてくれたのは、専用車二台(トラック)一台は引き

上げる為。砂煙の中を進むにつれ、車幅一杯の道、それを横切る水の流れを車で突つ走る。ギルワまで二時間。竹竿で動く船で対岸サナンダへ。

祭壇を組み、この辺りで戦死したのであろう父への追悼文を四人が読み始めると雨が降り出し、段々ひどくなる。ゲストハウスに入れてもらい皆で「故郷」を唄う。異国でずぶ濡れでローソクの光の中で唄う「故郷」。

お父さんどんなにか故郷へ帰りたいかだっただろうに。父や母、妻や子の待つ故郷に。しのつく雨、涙こらえてもあふれる。

雨は止まない。ホテルはない。帰らなければ。来る時でさえ恐かったあの川。増水している。上から降る雨、船底からわいてくる水。二人が川に入り、川上へ船を押しながら水をかえだして下さる。皆ほとほと。例の専用車に乗換え、水びたしの道を走る。途中ココナツツの木が倒れ通れない所が三ヶ所。雨の中、車のライトで斧や鋸で地の人が片付けて下さ

る。水の流れは、二人の人が先に渡り深さを見きわめ車が進む。途中で止まる。例の車が役に立つ。勢いをつけてもう一度、クリアする度に歓声上がる。

私達は、親を想いニューギニアに行きました。でも、十三万人の中に親となれなかつた多くの方々も居られます。ある異様な雰囲気の中「お国の為と死ぬ」教育の恐ろしさのようなものを感じます。

「何でそんなとこへ?」「何の為に?」と孫がきいてきます。改めて平和を守っていかなければ!

(上田 豊子)



おぼろげな豆の煮物

大豆の煮物

おすすめ料理と言えるかどうか  
わかりませんが母から教わったそ  
ら豆の煮方を書いてみます。

中大沢の夏祭のごちそうと言  
うとそら豆と身欠きにしんですが、  
最近では煮たものを買うし、また法  
事とかにもよく炊いたものです  
が、最近ではちよつと炊い  
ていませんので一度炊い  
てみようと思います。

《材料》そら豆 一升

タンサン一袋(五十グラム)

砂糖 一kg 塩 小さじ一杯

《作り方》① そら豆にタンサン  
一袋を振りかけ熱湯を豆が浸かる  
くらい充分かけ蓋をして一昼夜お  
く。

② ①をそのまま火にかけ、落し  
蓋をして皮がやわらかくなるまで  
弱火で煮る。

③ やわらかくなったら砂糖を入  
れ弱火で煮て、砂糖がとけたら火  
を止めて冷めるまでおく。

(坂井 美代子)

行事経過

12/26~31 年末特別警戒

1/10 婦人会定例役員会

ふれあい昼食会

1/14・15 女性会みそ作り

1/15 まちづくり部会定例会

1/16 胃がん検診

1/22 資源集団回収

1/25 子供に関する委員会

町民の動き

おくやみ

1/2 中大沢藤井半治さん 81歳

1/18 中大沢和田やゑ子さん 91歳



1月6日 出初式

お知らせ!

地域福祉センターの  
改修工事のため2月  
12日からご利用い  
ただけません



上大沢 とんど 1月14日

。。。投。。。句。。。

真二つに白菜割りて母憶ふ	佇めば風音のみぞ枯野原	遠近にサイレン走る師走かな	蜜柑晴れ幼稚園児のバスが着く	枯菊や焼かれながらも香を放つ	冬の夜の編物する背母に似て	枯菊や思い思いに咲きしまま	冬の夜迎えし父の温もりを
佐代子	福夫	しろう	弘昭	三枝	三恵子	たみえ	正子

行事予定2月

10(日)人形劇 おひさま劇場  
11:30~ 14:00~  
ホテルバラの間

24(日)ちびっこお絵かき教室  
(事前予約)  
11:00~ キッズ館シアター

☆ おしらせ ☆  
12(火)~24(金)施設点検のため  
休園致します。